

<1学期の様子>

2026.7月吉日

子どもたちが楽しみにしていた七夕まつりも終わりました。

“七夕さま、の劇遊びや、笹飾りや短冊を大きな笹に付けるなど子ども達の楽しんでいる様子も見られました。そして年長児さんはキャンプへの期待が膨らんでいる様です。

1学期は、保育園も幼稚園も行事がたくさんありました。

子どもの日のお祝い会、お日様スキンシップデー、七夕まつりなど日本の伝統行事、そして季節が感じられる素敵なものです。又、1ヶ月に1回の仲良しタイムのおやつ作りも子ども達にとっては楽しみのひとつですね。

当園の行事は見せるためのものではありません。華やかできらびやかな衣装を身にまとして発表するのではなく、私達大人が見守る温かい雰囲気の中で子ども達は体験をしています。

子どもの日のお祝い会では、ちまきを作りました。

年長児は自分の手で大きな笹に包んでいきます。笹の葉のにおいや手触りも子ども達の触覚や臭覚も刺激したことでしょう。もちろん市販のちまきより甘さ控え目なちまきは子ども達の味覚にも良い影響を与えたいと思います。



今年のお日様スキンシップデーは空を見上げて「大丈夫かな？」とやきもきしましたが、何とか無事に行うことができました。ホッとしたのが正直なところです。

一般の幼稚園の運動会の様に競争する、見せることが目的の会ではなく、お家の方とのスキンシップを大切にしたいものを行います。特に年長児のみができるプレイバルーンは年少児、年中児さんの憧れです。そして園庭には先生達からのプレゼントのシャボン玉がたくさん飛び交いました。



七夕まつりは、子ども達による“七夕さま、の劇遊び。そして先生達からのキンダーハープ演奏のプレゼント。ハープの優しい響きは子ども達の耳にも心地よく届いたことでしょう。電子音や機械音とは違う、静かに響く音は、大人も癒やされるものです。そしてこの日は、先生達は浴衣で、それも子ども達は憧れの目差しで見ている様です。そして水彩画の和紙に1人1人思い思いの絵を描き、大きな笹に短冊や七夕飾りを自分で結び付けます。玄関に立てると素敵な笹飾り付きのトンネルとなり、子ども達もお迎えの時は大喜びでした。



4月からの3ヶ月間、子ども達の成長した姿をたくさん見ることが出来ました。

幼稚園では、朝泣いて登園したお友達が泣き続けることがなくなったこと、大きいお友達が年少さんの上靴を履かせてくれたり、一緒に遊んでくれたり、給食の準備などお手伝いしてくれたりと微笑ましい様子が見られました。

保育園では、自分が使おうと思っていた玩具を「どうぞ」と貸してくれたり、並ぶ時に順番を譲る姿も少しずつ見受けられます。

2学期も楽しい行事がたくさんあります。

月1回の仲良しタイムを始め、園外保育、七五三、収穫祭、クリスマス会。

行事を通して、また日々の生活の中で子ども達の成長を身近に感じられることが楽しみです。